

香美町ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会教育総務課

第2期香美町教育振興基本計画が始まります

町教育委員会では、平成24年度から第1期香美町教育振興基本計画に基づき、さまざまな香美町ならではの教育への取り組みを行ってきましたが、本年3月に計画期間が満了したことから、「第2期香美町教育振興基本計画」を策定し、4月から新たな取り組みがスタートしました。この第2期香美町教育振興基本計画では、第1期計画から引き続き取り組むべき課題のほか、近年の社会情勢や教育環境などの変化によって生じた新しい課題に対応していくため、今後5年間（令和4年度～令和8年度）でめざす教育の方向性を定めています。



今、香美町の子どもの現状は？

これまでの「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）から、本町の子どもの多くが、将来への夢や希望を抱き、自己有用感を持って日々生活しているという実態が見えています。また、児童生徒とも、今住んでいる地域の行事に積極的に参加するなど、ふるさとへの思いも醸成されつつあり、これまでから取り組んできた「ふるさと教育」が児童生徒により影響を与えていると考えられます。

しかし、児童生徒数は今後5年間で約30%減少すると見込まれ、香美町ならではの「魅力ある学校園づくり」の取り組みにおいて、これまでのような成果を期待することが難しくなってくると予想しています。



基本目標「ふるさと香美を愛し、夢や志を抱き、共に未来を切り拓く人づくり」

変化の激しい知識基盤社会を生き抜くには、夢や志の実現に向かって努力し、ふるさとで育んだ「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を持って人として自立し、社会のさまざまな人たちと共生しながら未来を切り拓く力が求められています。第2期計画では、このような時代を生き抜く力を持ちながら、自身の原点であるふるさとを心の中にいつも抱いている人づくりを進めていきます。

この基本目標の実現に向け、次の6つの視点を踏まえた取り組みを進めていきます。

- ① 幼児期において、生涯の学びを支える「非認知能力」を育む。
- ② コミュニケーション教育を通して、人間関係力など生き抜く力の育成を図る。
- ③ 小規模校ならではの特色を生かした取り組みの質的向上を図る。
- ④ 就学前施設、小・中学校の適正配置により、学びの環境を整える。
- ⑤ 学校・家庭・地域が一体となったふるさとの教育力の向上を図る。
- ⑥ 「3つの町民運動」における読書活動を積極的に推進する。

